

お知らせ

2021年12月15日(水)

北海道エアポート株式会社

寒冷地に適した高たわみ・応力緩和型特殊改質アスファルトの 実証実験施工を実施しました

北海道エアポート株式会社（本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生猛）は、大成ロテック株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：西田義則）と協力し、新千歳空港における誘導路の一部にて、同社の高たわみ・応力緩和型特殊改質アスファルト「リラクスファルトHT」を使用した実証実験施工を実施いたしました。

この特殊改質アスファルトは、国内の交通量の多い道路において多くの実績があり、高温時に加えて、低温時における変形にも対応可能な素材のため、ひび割れの発生を抑制する効果が期待できます。併せて、維持修繕の効率化、ライフサイクルの長寿命化につながり、使用材軽減による二酸化炭素（CO₂）削減にも寄与することから、今後定期的に状況調査を行ってまいります。

当社は、環境に優しく、空港のさらなる安全・安心の向上を目指し、今後も新素材の活用に向けた実証活動を行ってまいります。



※配合については、空港基本施設の表層材として採用している改質アスファルトと同仕様で施工しております。

※商品に関する説明は、以下のURLよりご参照ください。

<https://www.taiseirotec.co.jp/technicalinfo/relax/>

＜本件に関するお問い合わせ＞

空港計画部技術課 0123-46-2990 (代表)